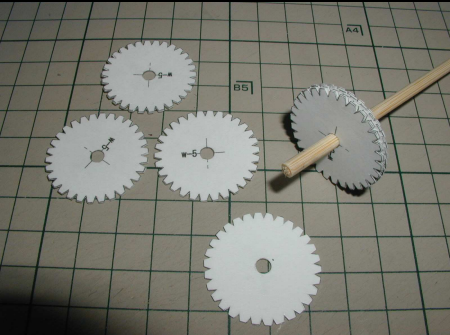
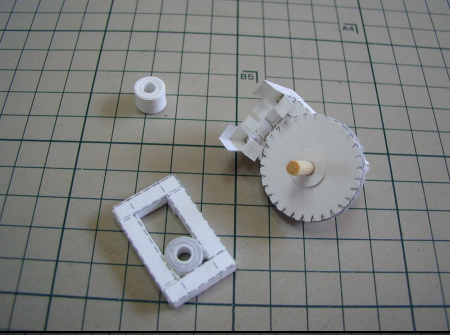
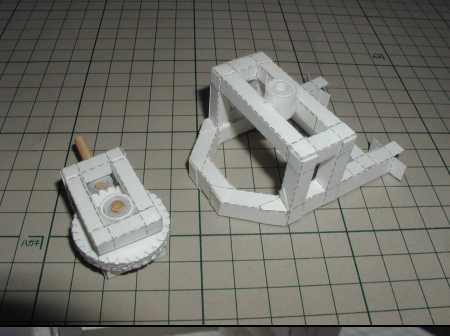
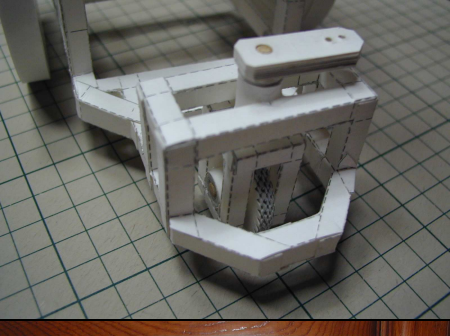



## 5. 操舵輪の製作

5-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 操舵輪を切り抜き外周に滑り止めとなる刻みを入れていきます。</li> <li>2) 切り抜いた部品を二枚ずつ外周の切り込みをあわせて接着します。このとき切り込み部には接着剤を塗らないようにします。</li> <li>3) 二枚ずつ張り合わせた部品を中心の穴を合わせながら、今度は外周の切り込みを半ピッチずらしながら貼り合わせていきます。このときも、切り込み部には接着剤を塗らないようにします。</li> </ol>
5-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 操舵輪の回転部です。フレームを四角く組み、軸受けを接着します。回転軸のφ4の竹ヒゴは操舵輪がスムーズに回転できるように紙やすりで仕上げておきます。</li> <li>2) 操舵輪の軸受けフレームを上部で連結するフレームを片側に接着し、両軸受けフレームで操舵輪を挟み込みガタがなくなるように連結フレームの長さを調節し接着します。回転軸も軸受けと接着し、両軸受けフレーム間の開閉をおさえます。</li> </ol>
5-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 操舵輪の回転部上部のフレーム間に軸受けを接着固定し回転用のφ4の竹ヒゴを接着固定します。</li> <li>2) 操舵輪の回転部を支持するフレーム部を写真のように組み立てます。上部に接着した軸受けは、回転部を受ける軸受けです。</li> </ol>
5-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 操舵輪のフレーム部をメインフレームに接着固定し、補強を入れておきます。</li> <li>2) 操舵輪の回転部に取り付けた回転軸を、支持するフレーム部の軸受けに通し、操舵用のレバーを差込み上下にガタがないようにして固定します。ただし 操舵角の調整を後で行うためこの段階では仮固定としておきます。</li> </ol>
5-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ゴムかけ用のフレームを取り付け、動力ゴムをつけてみました。この段階では、まだ負荷がさほど大きくないので上下各二本としてあります。</li> <li>2) 動く様子は動画をご覧ください。ゴムを巻き取るときのラチェットの機能がわかると思います。走行はまだ调速機がついてないので暴走状態です。</li> </ol>